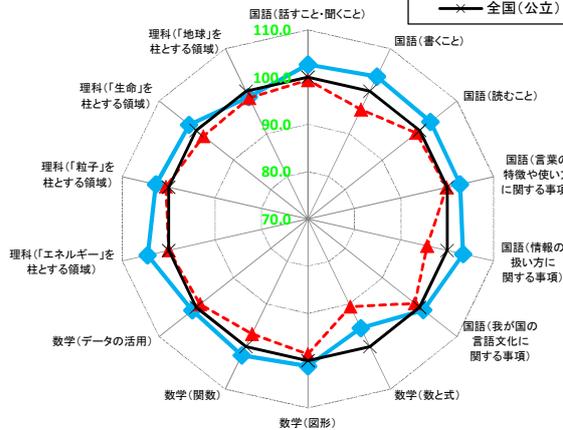
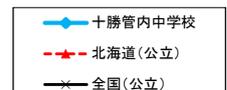
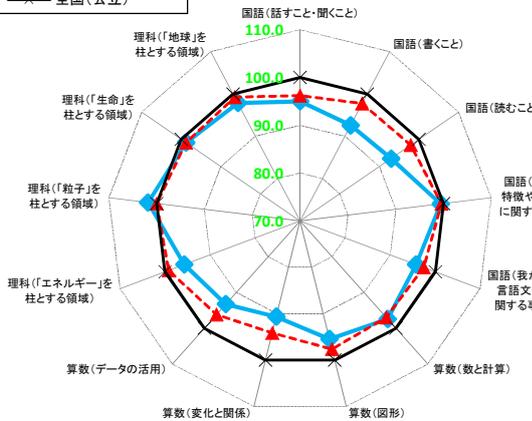


■十勝管内の状況及び学力向上策（小学校数：84校、児童数：2247人）（中学校数：48校、生徒数：2157人）

小学校【教科全体の状況】

平均正答率	小学校国語	小学校算数	小学校理科	中学校国語	中学校数学	中学校理科
十勝管内	63[62.9]	60[60.1]	62[62.6]	71[70.7]	51[50.9]	50[50.4]
全国	66[65.6]	63[63.2]	63[63.3]	69[69.0]	51[51.4]	49[49.3]

中学校



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの（管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出）

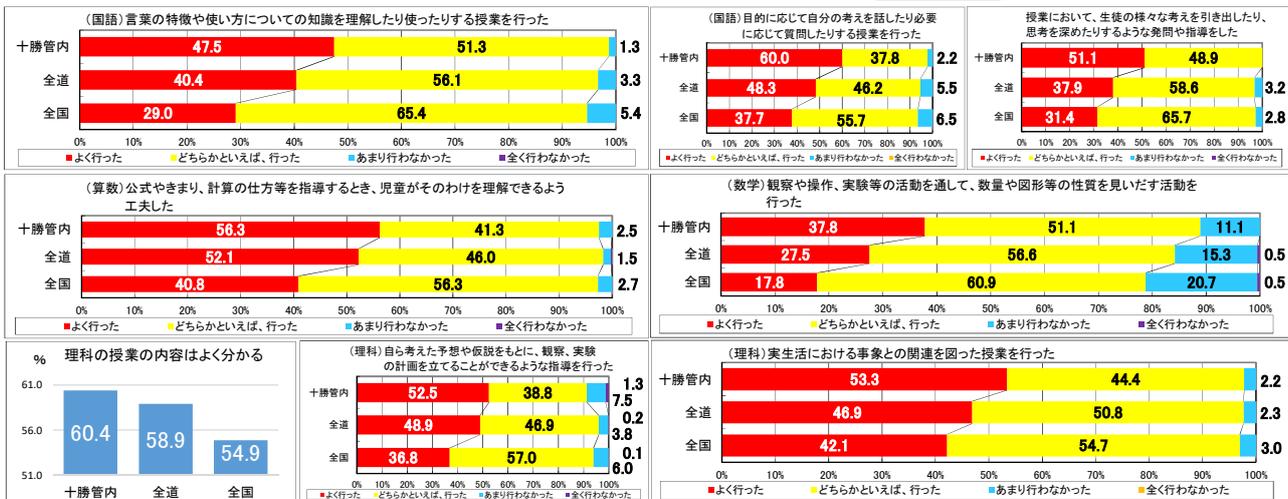
【平均正答率の推移】「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化



【質問紙の状況】

小学校

中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

中学校

管内の多くの小学校において、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする国語の授業を行ったことにより、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で全国及び全道の平均正答率を上回った設問があったと考えられる。

管内の多くの小学校において、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童がそのわけを理解できるよう工夫した算数の授業を行ったことにより、「数と計算」の領域で全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

管内の多くの小学校において、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような理科の指導を行ったことにより、理科の授業内容がよく分かることと回答した児童の割合が全国及び全道を上回るとともに、「粒子」を柱とする領域で全国及び全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校において、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする国語の授業や生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導したことにより、国語の全ての領域及び事項で全国及び全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校において、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行ったことにより、「図形」、「関数」、「データの活用」の領域で全国及び全道の平均正答率が上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校において、実生活における事象との関連を図った理科の授業を行ったことにより、「エネルギー」、「粒子」、「生命」を柱とする領域で全国及び全道の平均正答率を上回るとともに、「地球」を柱とする領域で全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

【十勝管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

十勝管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1) 検証改善サイクルの確立

- 検証改善サイクルに基づく教育課程の改善が組織的な取組になっていない学校があることから各学校における体制の検証及び改善・充実を図る必要がある。
- 組織力向上に関するアンケートを2月に実施し、取組の成果及び課題の改善状況をマネジメントする。
- 組織力強化会議や教育委員会訪問において、学校や市町村教委の取組を客観的に検証する機会を設ける。

(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- 目指す資質・能力の育成や各教科等の特質を踏まえた授業改善が十分でない学校があることから、児童生徒と各教科等を学ぶ意義を共有し、各教科の特質に応じた学習過程に基づく授業改善を確立する必要がある。
- 課題のある学校に対して、学校教育指導訪問の機会を設定し、授業改善に向けた継続的な指導助言及び支援を行う。
- 研修等において、各教科等の特質を踏まえた学習過程の在り方及び各種調査結果の活用等について指導助言する。

(3) 学校間、家庭及び地域との連携推進

- 授業以外での学習習慣の確立に課題が見られることから、望ましい学習習慣・生活習慣の確立に向けた家庭及び地域との連携を推進する必要がある。
- コミュニティ・スクール等を活用した児童生徒の学習習慣・生活習慣の確立に向け、社会教育主事による学校訪問を計画的に行う。
- 自ら学習する環境づくりに向け、未来創造授業の実施やICTを活用した授業など、教育活動との関連を図った家庭学習のあり方について指導助言する。
- 中学校区全体で取り組むことができるよう、小中連携、小学校高学年教科担任制等に関する好事例を発信する。

2. 具体的な取組

月	(1) 検証改善サイクルの確立	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進	(3) 学校間、家庭及び地域との連携推進
10	・学校経営指導訪問 ・十勝管内教育推進の重点に係るアンケート	・後期学校教育指導訪問	・未来創造授業の実施 ・社会教育主事による出前講座
11	・第2回組織力強化会議 〔管内小・中学校及び義務教育学校のミドルリーダー〕	・学力向上に向けた授業改善に係る局独自研修 ・各市町村教育研究大会における指導助言	・小中一貫教育、小学校高学年教科担任制に関する好事例の普及
12	・十勝管内教育推進の重点に係る取組の評価	・ICTを活用した授業改善に係る局独自研修	
1	・組織力向上等に関する最終評価		・小中一貫教育サポート事業の成果の普及
2	・十勝管内教育推進の重点に係るアンケート ・第2回市町村教育委員会訪問	・校内研修の充実に係る局独自研修	・春休み学習サポート問題の提供
3		・十勝管内学力向上推進計画及び取組について検討	

3. 取組の評価

(1) 検証改善サイクルの確立	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進	(3) 学校間、家庭及び地域との連携推進
①分析結果と改善方策等を全教職員で共有したと回答した学校の割合 ・現状 小…93% 中…92% ・目標 小…100% 中…100% ・達成値 2月に評価 ②各種調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成、実施、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していると回答した学校の割合 ・現状 小…51% 中…50% ・目標 小…100% 中…100% ・達成値 小…48% 中…53%	①課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる回答した児童生徒の割合 ・現状 小…34% 中…39% ・目標 小…100% 中…100% ・達成値 小…31% 中…35% ②国語、算数・数学の授業の内容はよく分かったと回答した児童生徒の割合 ・現状 小国…45% 中国…44% 小算…46% 中数…39% ・目標 小国…100% 中国…100% 小算…100% 中数…100% ・達成値 小国…38% 中国…38% 小算…40% 中数…39%	①近隣の小学校（中学校）と教科の教育課程の接続や教科に関する共通の目標設定等、教育に関する共通の取組を行ったと回答した学校の割合 ・現状 小…73% 中…80% ・目標 小…100% 中…100% ・達成値 小…70% 中…71% ②家で自分で計画を立てて勉強していると回答した児童生徒の割合 ・現状 小…35% 中…33% ・目標 小…100% 中…100% ・達成値 小…28% 中…19%

4. 改善点

(1) 検証改善サイクルの確立	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進	(3) 学校間、家庭及び地域との連携推進
□ 学校教育指導訪問において、分析結果に基づく「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」など、資質・能力の育成に向けた改善方策及び取組の状況を共有し、児童生徒が目的をもって試行錯誤しながら、他者と協働したり、自ら学習したりする場面を単元に位置付けるよう指導助言を行う。 □ 第2回組織力強化会議において、ミドルリーダーを中核とした校内における検証改善サイクルの確立を促す指導助言を行う。	□ 各教科等の特質を踏まえた視点や児童生徒を主語にした視点に基づいた学習評価について指導助言を行う。 □ 児童生徒自身が言語活動を通して選択・決定し、学びを実感するとともに、言語意識を働かせることを重視した言語活動ができるよう、ICTの効果的な活用など児童生徒や学校の実態を踏まえた指導助言を行う。	□ 学年間、校種間において、指導事項の関連性や系統性を踏まえた小中連携の円滑な接続について指導助言する。 □ 家庭での学習課題の適切な設定や発達の段階に応じた望ましい学習習慣・生活習慣の確立に向けた指導助言を行う。